

清川村教育委員会会議録

日 時 令和元年12月19日(木) 午前9時00分
場 所 せせらぎ館3階 研修室
出席委員等 教育長 山田一夫、職務代理者 橋本直人、委員 加藤しのぶ、
委員 今野郁夫、委員 石川富美子
事務局 (山口参事兼指導主事、山田課長、井上課長、南波指導主事)

欠 席 者 なし

議事日程

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題
(1) 教育長報告
(2) 議案第16号 要保護、準要保護児童生徒の決定について
(3) その他
4. 次回の会議日程
5. 閉会

開会 (午前9時00分)

教育長あいさつ

日本の保育をみると、子どもの保育の目線が子ども中心目線であり、世界と違う面について述べる。また、まちづくり課作成のマンホールカードについても述べる。

教育長「議題(1) 教育長報告」

別紙により教育長の前月教育委員会会議以降の教育長動向について述べる。教育長「議題(2) 議案第16号要保護、準要保護児童生徒の決定について」を議題とし、事務局に説明を求める。

事務局 提出資料により説明

要保護、準要保護児童生徒の決定について、別紙資料により説明を行った。

質 疑 無し

準要保護児童生徒の決定について承認される。

教育長「議題（３）その他」を議題とし事務局に求める。

事務局 コミュニティスクール（学校運営協議会）に関する研修会実施後のアンケート結果及び今後のスケジュールについて説明する。

委 員 最後の質疑応答の時に厚木市の教職員の方が、コミュニティスクールを１年前から実施しているが、現在課題に直面しているとおっしゃっていたが、その後何か情報を得ているならば教えてほしいと思います。

事務局 質問は厚木市の校長であり、校長としてどう整理していけばいいのか悩んでいたが、今回の研修会での話を聞いて自分の中で整理できたということです。また、課題としては地域の願いと学校との願いに食い違いがあり、校長として悩んでいるということでありました。

委 員 コミュニティスクールのスケジュールも大切であるが、学校側がこのような子どもを育てたいという子ども像を示していただき、今の現状の子どもの足りない面や弱い面を地域と一緒に認識して、そこを埋めていく方策をとらないと、いろいろな課題が出てくるのではないかと思います。また、地域と学校がじっくりと話し合うことが大切であるとともに、コーディネーターの資質能力がかなり求められるのではないかと思います。

事務局 委員さんのご意見を参考に、地域とともにある学校、教職員、地域住民、保護者で目標、ビジョンを共有できるよう校長会等で地域とともに行っているよう学校に伝えていきたいと思います。

委 員 コーディネーターの連携で、清川村に合ったコミュニティスクールを行っていただきたい。

教育長 今回のコミュニティスクールは、煤ヶ谷地区では、幼少中の１２年間、宮ヶ瀬地区では、小中合同でのコミュニティスクールであるため、清川村教育計画に基づいて進めていきたいと思います。

事務局 学校教育課より。令和２年１月、令和２年２月分の行事予定について別紙で説明を行った。また、給食センター保護者負担軽減食材提供についての報告をした。

事務局 生涯学習課より青少年指導員の件、成人式、健康遊具体験会についての説明を行った。

次回会議日程を調整した結果、令和２年１月２３日（木）に教育委員会議

委員 閉会宣言（午前9時45分）

令和2年1月23日

教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員
委 員

山 田 一 夫
橋 本 直 人
加 藤 し の ぶ
今 野 郁 夫
石 川 嵩 美 子

